

●筑波大学附属小学校

教材から保健だよりまで効果的に活用

青は峻別と美しさ、赤は強調。 色が持つ効果を実感。

筑波大学附属小学校では、平成17年9月から2色デジタル印刷機の研究助成校としてさまざま実践を行なってきました。今回は、その中から見てきた2色プリントの教育効果について伺いました。



露木和男先生

初等教育の理論と 実際について研究

明治6年に東京師範学校附属小学校として設立され、すでに創立134年を数える筑波大学附属小学校。

日本でも指折りの歴史ある小学校であると同時に、ここでは初等教育の理論と実際について研究することが使命とされ、その研究成果を年2回公開しています。

研究発表会には国内外から多くの参観者があり、研究成果を通して国際交流も行われています。クラス定員は40名で、現在、24学級、946名の子どもたちが学んでいます。

子どもたちの集中力がアップ

同校は平成17年9月に2色デジタル印刷機の研究助成校となり、2色プリントがどのような教育効果をもたらすかを探ってきました。

研究担当の露木和男先生は、さまざまな2色プリントの教材や通信類を前にして、開口一番、

「色が子どもたちに与える影響は決して小さくないと、改めて思いました」

と言います。

特に効果を強く感じたのは漢字練習教材の枠線を黒から青にしたときだったとのこと。

それまでは漢字練習教材の枠線は、黒というのが当たり前でしたが、枠をすべて青色にしたとき、担当の先生は、子どもたちの集中力が違うと感じたと言います。

「その理由を考えると、まず青色の枠線が美しい。青は落ち着いた色です。子どもたちは心理的に安心感を得ます。

そして、その枠の中に黒色（鉛筆）で漢字を書いていく。青の中の黒ですから枠線の青と区別され、見やすく美しい。子どもたちは自分の字が浮き立って、存在を主張しているように感じるのだと思います。

単純なことのようにですが、2色プリントによる学習の大切さを感じましたね」（露木先生）

青色の文字には独特の質感

青と黒の2色プリントの学級だよりも発行されました。

「これまでの黒1色の学級だよりと較べると、優しい温かな感じのする学級だよりになりました。」

漢字練習教材と学級だよりの試みからわかったことは、青い文字には独特の質感があるということです。

目には黒も青も入ってきていますが、青は、強く激しい黒に較べて一歩引いた印象を与えます。それが柔らかい、優しい感じを生み出し、逆に効果的にその部分を峻別します。

そして全体としては、ある種のハーモニーが生まれ、美しさを与えるのだと思います」

子どもが「先生」になれる

テストの模範解答を赤でプリントしたときは、また別の効果が得られたと露木先生は言います。

この授業では、グループごとに一人の子どもが問題と模範解答をつくり、他の子どもたちが解くというもので、この模範解答はグループ全員に印刷して配るので、赤を使うことで、担当の先生



2色デジタル印刷機の前で

強調したい部分を赤でプリント

学校におけるアレルギー対策
食物アレルギーとアナフィラキシー
【担当 保健室長 小笠原 美穂 副担当 金子 美穂】

食物アレルギーの対応
アレルギーとなる食品を口にしないこと
アレルギーの中心食品、アレルギーの対応
アレルギーの中心食品、アレルギーの対応
アレルギーの中心食品、アレルギーの対応

アナフィラキシーの症状
口の中に違和感、口唇がしびれる、目のかゆみ、鼻水、目やみ、喉の腫れ
皮膚のかゆみ、じんましん、じんましん、じんましん
呼吸困難、意識障害、昏倒、呼吸困難

アナフィラキシーへの対応
1. 原因となる食品の口にしないこと、症状を認めたとき、口の中をすすぎます。
2. 病院まで送ります。ショック症状がある場合は、毛布などを利用して保温を行います。
※学校がない場合は保護者へご連絡の上送ります。

学年	名前	アレルギー
1	3-1	卵、小麦、大豆、乳製品、そば、りんご、りんご、りんご
2	+	りんご、りんご、りんご
3	4-1	りんご、りんご、りんご
4	+	りんご、りんご、りんご
5	4-2	りんご、りんご、りんご

※学校がない場合は保護者へご連絡の上送ります。
※学校がない場合は保護者へご連絡の上送ります。

若桐 NEWS WAKAGIRI NEWS INFORMATION
2009年12月号
【発行】月刊誌「若桐」の発行
発行 2009年 2月号 20日 発行部数 100部

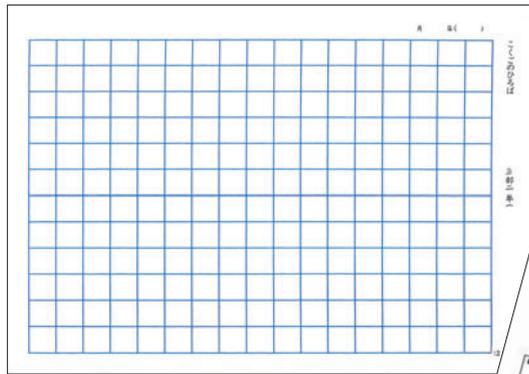
新聞紙のリサイクルについてのお願い
新聞紙のリサイクルは環境にやさしいこと、資源の節約に役立ちます。今年も、紙の回収、資源の回収をお願いします。紙の回収は、回収の日に合わせてお願いいたします。保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

※発行 2月号 20日 発行部数 100部
※発行 2月号 20日 発行部数 100部
※発行 2月号 20日 発行部数 100部

保護者向けの「ほけんだより」などに赤をじょうずに使って「わかりやすい」「読みやすい」と好評

ほけんだより
【発行】月刊誌「若桐」の発行
発行 2009年 2月号 20日 発行部数 100部

保護者向けの「ほけんだより」などに赤をじょうずに使って「わかりやすい」「読みやすい」と好評



これまで黒1色だった「学級だより」や漢字練習教材に青色を使って大きな効果が

風の歌 感動・感謝の「3部」グッズ
TEAM HAYASHI. みんなでGO!
【発行】月刊誌「若桐」の発行
発行 2009年 2月号 20日 発行部数 100部

感動・感謝の「3部」グッズ
TEAM HAYASHI. みんなでGO!

はひとつの変化を感じ取ったこととです。

「子どもたちのやる気、モチベーションが上がったのです。これは、赤で模範解答をつくる、つまり子ども自身が先生になれるということです。日ごろ先生がしていることを自分がしているのです。ちよっとしたことですが、こうしたことで子どもたちのやる気に変化が出るのですね」（露木先生）

保護者向けの資料には「赤」を送り手の思いを伝える効果も

保護者向けの保健だよりでは、強調したい事柄に赤を使いました。「とてもわかりやすく、読みやすくなった」と好評です。またPTA活動の印刷物にも盛んに赤を使いました。

赤を使うことで、さらっと読んだだけでは見過ごしがちな大切なメッセージが、否応なく保護者の目に入ります。

同時に、赤の文字で強調することで、先生の思いが保護者に伝わります。言い換えれば、文書の向こうに、情報の送り手の思いが見えてくるという効果が生まれるのです」



筑波大学附属小学校

露木先生は2色プリントの効果について、「実際にやってみれば、そのよさがわかる」と、次のように締めくくりました。

「私たちは色のある世界に住んでいます。だから色にこだわるし、何かを十分に伝えたいときには、複数の色があるほうが伝えやすい。だからといって何でもフルカラーがいいというわけではない。2色プリントだからこそ出来る独自の世界があると思います。

2色を工夫して、いかに読みやすく、また美しく表現できるか。それは教師としての能力であり、工夫することがいま試されていると思います」